

お空を キック

里庄町立里庄東小学校

一年生 みや きょう子

「わたし、さか上がり ニかい できたんよ。本とうに できたんよ。」

いえに かえって きた おかあさんに はなした。

「がんばったなあ。こんど 見せてえよお。」

と、おかあさんは よろこんだ。わたしは、とても うれしかった。

でも、そのあと なんかい やっても、さか上がりができなくなった。もう、十日も できて いない。ふゆ休みに なったら、おかあさんに 見せて あげたかったのに、ぜんぜん できない。おかあさんに はなすと、
「そうなん。でも 一かい できてるから、また すぐで

きるわあ。」

と わらった。わたしは、とても かなしかった。「なぐさめて もらいたいんじゃないもん。わたし、かっこよく さか上がりをして、見せて あげたいんだもん。よく できたねって いわれたいんだもん。」って いいたかったけれど いわなかった。

十二月三十日、いつものように 小学校に 行って、さか上りの れんしゅうをした。おかあさんと いっしょに きたから、きょうは ぜったいに せいこう させたかった。五十かい いじょう れんしゅう した。手の かわが ちぎれるかと おもった。うでも いたくて 力が 入らなくなった。

「よう がんばったな。また あした こよう。」

と、おかあさんが いった。わたしは、また かなしく なった。おかあさんが かえろうと したから、わたしは、「おかあさん。」

って いったから、おもいっきり お空を キックした。あしが ぬけるかと おもうくらい けた。ビュンと かせのおとが して、からだか ぶつと かるく なった。ふ

とももに ドンと てつぼうが あたったから、いそいで
ひざを まげた。うでと おなかに 力を いれて、ぐっと
おき上がった。そうしたら、おかあさんが こつちを おい
て びっくりした かおを して いた。

「いま、まわった？」

と、おかあさんが きいたから、

「うん。いま、まわった。」

と こたえた。

「できたなあ。」

おかあさんは、はく手を しながら ピョンピョン とんだ。
わたしは、とても うれしかった。やっと 見せて あげら
れたから。

その 日は、この 一かいしか できなかった けれど、
一月一日に れんしゅうに いった ときは なんかいも
できた。もう だいじょうぶ。いつでも おかあさんに 見
せて あげられる。コツは、とおくの お空を、おもいっき
り キックする。そうすれば、ぜったいに できるから。
きょうから わたしの とくぎは、さか上がりに きめた。